学校番号 C2101　桃谷（通）　　令和2年度 国語科

科目名 ：	古典Ｂ	単位数 ： 4 単位	必要スクーリング出席回数： 4 回
使用教科書 ：：高等学校　改訂版　標準古典Ｂ　（第一学習社）			
学習書 ・副読本 ：：同準拠学習書　（ＮＨＫ出版）			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	12 枚	4 枚	4 枚	4 枚
スクーリング [S]	16 回	6 回	5 回	5 回
テスト [T]	3 回	○	×	○
その他 （課題・実習等）				

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

「もとはこんな話だったのか」「こんな内容は知らなかったな」など新しい発見があったり、作者や作品の中に登場する人物の生き方・ものの見方にふれ共感できるところも考えさせられるところもあって、親しみのもてる作品ばかりです。古典は難しいものではなく楽しいだと気軽に楽しみながら学習しましょう。

2 学習の到達目標

古典として古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：話す・聞く能力	c ：書く能力	d ：読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで古典に親しもうとする。			古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察（スクーリング） ・記述の点検（レポート）			・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査	・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	e	単元(題材)の評価規準	評価方法
1範囲	古典に親しむ	古文 初冠・通ひ路の関守 （伊勢物語） かぐや姫の昇天 （竹取物語） 中納言参り給ひて （枕草子） 能登殿の最期 （平家物語） 漢文 －漢文入門・故事－ 朝三暮四	○			○	○	a:教科書や学習書を適切に用い、レポート学習に取り組んでいる。 d:学習書や資料を参考にして、文章を適切に読むことができる。 e:歴史的仮名遣い、古典文法、漢文の基礎知識について理解し、知識を身につけている。	行動の観察 レポート 定期考査
2範囲	様々な文学作品に触れる	古文 弓争ひ（大鏡） 小式部内侍が大江山の歌の事 （古今著聞集） 安元の大火 （方丈記） 漢文 －漢詩・思想－ 論語・孟子 中国の詩　数編	○			○	○	a:文学作品の特徴を理解し、関心を深めている。 d:学習書や資料を参考にして、表現技法に注意して文章を適切に読むことができる。 e:歴史的仮名遣い、古典文法、漢文の基礎知識について理解し、知識を身につけている。	行動の観察 レポート
3範囲	発展的に古典を鑑賞する	古文 和歌数首 （万葉集・古今和歌集・新古今和歌集） 若紫（源氏物語） 門出（更級日記） 夢よりもはかなき世の中 （和泉式部日記） 漢文 －思想－ 老子・荘子	○			○	○	a:古典を通じて言語文化を考え、中国の思想にも触れることによって国語を尊重し自分の考えを深めている。 d:学習書や資料を参考にして、古典文学の表現を適切に理解している。 e:歴史的仮名遣い、古典文法、漢文の基礎知識について理解し、知識を身につけている。	行動の観察 レポート 定期考査

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：話す・聞く能力　c：書く能力
d：読む能力　e：知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「読む能力」「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を付している。